

## 1. 序論

普段、生活している中で女性にとって化粧をするということは欠かせないことのひとつだと感じていた。私自身、化粧をするということは自分を良く魅せたい、また社会のエチケットとして化粧をしてきた。化粧をすることで、様々な自分を演出することが出来、化粧は自分を良く魅せるための手段のひとつだと考えている。そこから自分に身近な女子大学生の化粧と美意識、心理について研究したいと考えた。

## 2. 調査方法

A4 サイズ 3 枚の詳細なアンケートを作成し、調査を行った。調査対象者は、和洋女子大学の家政学群の学生 407 名である。調査内容は、日常の化粧の習慣、化粧品を購入する基準、化粧品にかかる金額、デパートコスメの購入、また通学と化粧など大学生ならではの化粧について等 20 問のアンケートを行った。

## 3. 結果

化粧をすることで高揚すると回答した 289 人と高揚しないと回答した 82 人に分け、化粧を始めた年齢と化粧品に掛ける金額の結果をグラフ化し分析した。

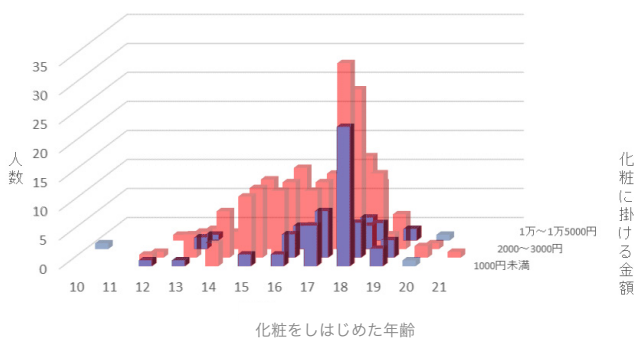


図 1. 高揚する人(赤)と高揚しない人(青)のグラフを重ねたもの

まず、高揚する人のグラフを見ていくと、年齢では中学校に入学する頃から上昇し高校を卒業する 18 歳でピークを迎え、19 歳以降は降下する一方、高揚しない人を場合、16 歳くらいから徐々

に増加し、高揚する人と同じように 18 歳でピークを迎えその後はあまりいないことが分かった。金額面では、全体的に 1000 円未満が圧倒的に多く、金額が上昇するとともに人数が減少した。また高揚する人の方が化粧を始める年齢が早く、化粧品に掛けている金額が高いことが分かった。高揚しない人は化粧を始める年齢が遅く 18 歳前後の人が多く、また、化粧品に掛ける金額が低いことがわかった。

同様にデパートコスメの購入有無と化粧を始めた年齢の結果を調べた。高揚する人はデパートコスメを購入したことがある人がやや多く、化粧を始めた年齢が早かった。また高揚しない人はデパートコスメを購入したことがない人が多く、化粧を始めた年齢が遅かった。他にデパートコスメを購入したことがある人の方が化粧を始める年齢が早いことが分かった。

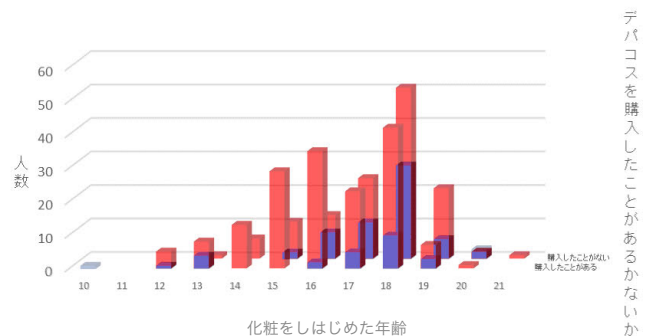


図 2. 高揚する人(赤)と高揚しない人(青)のグラフを重ね合わせたもの

## 4. 総括

化粧をして高揚する人と高揚しない人の様々な結果を分析した。高揚する人では、化粧品や服にお金を掛ける、人に良く見られたいために化粧をする、化粧を始める年齢が早いという傾向が見られた。また高揚しない人では、化粧品や服にあまりお金を掛けていない、女性としての社会的なマナー、身だしなみのために化粧をする、化粧を始める年齢が遅くなるという傾向が見えた。他に敏感肌と普通肌に分け同様に分析したが、大差がないことが分かった。